

平成 30 年度第 1 回庄内町都市計画審議会 議事録

日 時：平成 30 年 12 月 6 日(木) 10:00～11:15

場 所：庄内町役場 第二会議室

出席委員：第 1 号委員 遠田 雅弘、原田 周子、齋藤 英俊、半澤 重幸

第 2 号委員 工藤 範子、國分 浩実

第 3 号委員 上野 金重 (代理出席 道路計画課課長補佐 鷹濱 潤)

佐藤 隆治 (代理出席 地域交通課長 鈴木 朋宏)

第 4 号委員 志田 重一

—以上 9 名—

事務局：建設課長、建設課長補佐兼都市計画係長、都市計画係主任

—10:00—

—任命書交付—

1 開 会

2 町長挨拶

本庁舎の建設が始まり、庁舎を中心としながら八幡スポーツ公園、町湯、駅前のクラッセといったものが点から線へ、線から面へとといった展開が広がっていくと思われる。

現在の都市計画区域内は非常に住みよい環境になっており、今までの住宅団地等は全部埋まっている。町としても若い人たちが住む場所の確保を考えていかないといけない時代になっている。民間の力とか民間でできないことについては町が手を貸しながら進めていきたい。今考えているのは、第 4 学区を起点としながら更に立川地域の方へ若い人たちを誘導するといった手法を計画している。都市計画区域の魅力が高まることによって庄内町全域に若い人たちの魅力が広がっていく相乗効果を狙っていききたい。ぜひ委員の皆様から今後の展望といったことについてご意見をいただきたい。

—自己紹介—

—日程説明—

3 会長挨拶

新しいメンバーも加わり、今町長からお話あったことについていろんな議論をしていただきたい。

4 報 告

(1) 庄内町都市計画審議会について 資料 1

(2) 平成 30 年度庄内町の都市計画の概要について 資料 2

事務局が資料に沿って説明

(質疑概要)

委 員：半世紀ほども都市計画区域の見直しが無いのはなぜか。余目酒田道路も完成し公共下水道も整備されている中、目的税である都市計画税の用途についてはどのように

考えているのか。

事務局：都市計画区域については、必要があったときにその都度見直しを行ってきた。余目酒田道路の完成に伴う都市計画区域の変更はない。都市計画税の用途については当課の担当ではないのでお答えできない。

委員：都市計画税については、住民から不満の声が聞こえる。公共下水道の償還にのみ充当されていて、都市計画区域内の公園や道路には使用されていない。住民は都市計画税を支払っているのに、下水道の方に使われていることがよくわからず、公園や道路の修繕が行われないことに不満を感じている。

事務局：都市計画税について、必要があれば次の機会での説明を考えたい。

委員：今後、都市計画区域の拡大の考えはないか。立川地域の狩川地区は対象にならないか。

事務局：今のところ拡大の予定はない。旧立川町時代に狩川地域に都市計画区域を設定する検討を行い、必要ないと判断したと聞いている。今後の拡大についても今のところ考えていない。

委員：余目酒田道路ができたことによって商工会や商業関連施設はどのようなメリットやデメリットがあったかということ商店にアンケートを取るなりして調査をすべきだったと気付かされた。都市計画を発展させるという意味で、気付いたことを発言しながら先に進んでいく審議ができればと思う。

委員：基盤整備を行った後の田は、何年か転用できないことになっている。住宅団地等の長期計画があるといいのだが。

事務局：今のところ計画は持っていない。

委員：優良農地を有効に利用してもらいたいが、農業等に支障がないよう都市計画を進めてもらいたい。

委員：今年の夏の大雨で、都市計画区域内での影響はなかったのか。

事務局：今年8月に大雨が3回ほどあり、市街地で何か所か床下等の浸水があった。昭和40年代から都市下水路を整備しているわけだが、その当時から比べると宅地の面積も広がっており、また雨の降り方も尋常でなかったため、現在の都市下水路の処理能力を超えていた。大雨に対応できる都市下水路にするためには相当の事業費が必要であり、今まで水路の改修等で何とか被害の軽減に努めてきたが抜本的な解決にはつながらないことから苦渋している。

委員：今年から平成37年にかけて、国のかんがい排水事業ということで6か所の排水機場の改修工事に着手している。改修することで今までの2倍から2.5倍の能力になる。

事務局：都市下水路については、毒蛇排水に行く分と西野排水に行く分の2つの系統がある。その2か所についても国営事業で現在の能力より2倍近くに改善されるようなので我々としても早期に工事が完了することを願っている。

委員：和光町の町営住宅あたりは今後改善されるのか。

事務局：ここについては、乗慶寺から旧国道を横断して南口の方へ流れている。余目酒田道路の関係で国交省が、旧国道下に新しい排水管を整備し、町の方でも今年度整備するので、完成後はいくらか改善なると思われる。

委員：8月の大雨時に被害が大きかった表町あたりはどうか。

事務局：現在の都市下水路の処理能力では対応できないことから、今後少しでも改善できるよう水の流れをみながら考えたい。

委員：安全で安心な町ということで都市計画を進めていただき、災害にも強く事故も起きないような町にしてほしい。計画等が出てきた場合は早めに教えていただきたい。

委員：全国の都市計画ということで考えると、少子高齢化が急激に進んでおり庄内の酒田

市・鶴岡市でも立地適正化ということで医療、住宅、商店を適正な配置にしてコンパクトなところで生活しようという流れになってきている。町長さんのお話では第4学区とか立川地域への誘導ということであったが、今後、コンパクトでいくのか広げていくのかは検討していかなくてはならないと思う。

5 その他

6 閉 会

—11:15—